

ありしも(仰阿)の算又絶無とは断じ難く此の際に於ては其の進攻時機は今年夏秋の候なるべく然るとも殆ど無防備に近き南西諸島は一舉に易々として敵手に入るの危険あるに鑑み急速に兵力を増強し萬一に備へんことを希望せしめマリアナ線を増強を要し且之が保持の確信せられたる當時の状況に於ては問題とならざり

イマリアナ線と同時に一舉に南西諸島を攻略す  
ロマリアナ線奪取後十分準備を整へたる後所謂二段攻撃式に南西諸島を攻略す

ハ依然島嶼を戦法を採用しニユトギニア、比島、臺灣を經或は其の一部に宿務、南西諸島を攻略す

以上何れの場合に於ても敵は大東島の頭を小島に足場を求むることなく南西諸島中大根據地たるべき沖縄本島及び宮古島に直接來攻するものと判断せり

### 第二節 第二期(捷號)作戰準備

一、不落と信ぜられしマリアナ線が六月下旬以降崩壊し始むるや大本營は急遽南西諸島、臺灣、比島等の増強を開始し就中殆ど無防備状態に在りし南西諸島の強化に邁進せり

斯くて七月中旬獨立混成第十五聯隊を内地より沖縄に空輸せしを始めとし戦艦大和、武藏以下の海軍艦艇をも動員し第九、第二十四、第六十二師團を沖縄本島に、第二十八師團(歩兵第三十六聯隊欠)、獨立混成第四十五、第五十九、第六十旅團を宮古、石垣兩島に、獨立混成第六十四旅團を徳之島に、歩兵第三十六聯隊を大東島に夫々輸送展開せり

是等兵團の大部は七、八月の間に其の一部は九月末頃迄に陸軍航空部隊の掩護下に夫々無事大本營の計畫通り各島嶼に展開を了せり其の概要左の如し

人奄美守備隊

獨立混成第六十四旅團長高田少將を長とし北緯二十八度十分より  
與論島に亘る奄美群島を作戰地域とし守備兵力は獨立混成第六十  
四旅團（獨立混成第二十一、第二十二聯隊）、重砲兵第六聯隊、  
船舶工兵一中隊、水上勤務一中隊を基幹とす兵力配置の概要左の  
如し

喜界島 獨立混成第二十二聯隊の一大隊

奄美大島 重砲兵第六聯隊の主力及特設警備四中隊

沖永良部島 獨立混成第二十一聯隊の一大隊（一中隊欠）

與論島

徳之島 奄美守備隊爾餘の主力

2. 大東島守備隊

歩兵第三十六聯隊長を長とし南、北、沖大東島を作戰地域とし守  
備兵力は歩兵第三十六聯隊、大東島支隊、獨立速射砲二中隊、特  
設警備一中隊を基幹とす兵力配備の概要左の如し

北大東島 歩兵第三十六聯隊の一大隊

沖大東島 大東島支隊の一中隊

南大東島 大東島守備隊爾餘の主力

3. 沖繩本島

展開兵力の概要左の如く其の兵團部署は後述す

第九師團

第二十四師團

第六十二師團

獨立混成第四十四旅團

獨立機關銃四大隊

獨立速射砲三大隊と二中隊

戰車第二十七聯隊（一中隊欠）

軍砲兵隊

第五砲兵司令部

野戰重砲兵第一聯隊（一大隊欠）

同 第二十三聯隊

獨立重砲兵第百大隊

中迫擊第四、第五大隊

輕迫擊八中隊

獨立工兵第六十六大隊

軍 防 空 隊

第二十一野戰高射砲隊司令部

獨立高射砲第二十七大隊

野戰高射砲第七十九乃至第八十一大隊

獨立機關砲第百三乃至第百五大隊

重砲兵第七聯隊

軍 船 船 團

第十一船舶團司令部

第五海上挺進基地隊本部

船舶工兵第二十三、第二十六聯隊（各一中隊欠）

海上挺進第一乃至第三、第二十六乃至第二十九戰隊

海上挺進基地第二乃至第三、第二十六乃至第二十九大隊

第三、第四遊擊隊

電信第三十六聯隊

第四十九兵站地區隊本部

第二野戰築城隊

第三十二軍防衛築城隊

要塞建築勤務二中隊

特設警備三中隊

同 工兵三大隊

野戰作井二中隊

獨立自動車二中隊

第三十二軍兵器勤務隊

第三十二野戰兵器廠

第三十二野戰貨物廠

陸上勤務二中隊

水上勤務二中隊

第二十七野戰防疫給水部

沖繩陸軍病院

第一船舶輸送司令部沖繩支部

其他省略

右の外第十九航空地區司令官指揮下の飛行場關係部隊は飛行場

大隊四同中隊一等なり

先島集團

第二十八師團長を集團長とし作戰地域は宮古島(含む)以南東

經百二十二度三十分ニ亘る間とし其の展開兵力の概要左の如し

宮古島

第二十八師團(歩兵第三十六聯隊欠)

獨立機銃一中隊

獨立機銃一中隊

獨立機銃一中隊

獨立機銃一中隊

獨立機銃一中隊

野戰重砲兵第一聯隊一中隊

海上挺進第四、第三中隊

同 基地第四、第三十八大隊

工兵一中隊

工兵一中隊

特設整備二中隊

右の如く方諸部隊、飛行場關係部隊若干あり



石垣島

獨立混成第四十五旅團

特別警備一中隊

後方部隊、飛行機整備部隊若干

島

重砲兵第八大隊（後に主力を以て石垣島に轉移す）

第五遊撃隊

二、捷二號作戰指導計畫

捷二號作戰指導計畫はマリアナ線失陥後の状態に對處し大本營に於て七月下旬之が準備を發令せるものにして本州北部より比島に亘る地域に於て敵の來攻方面を概定して作戰準備を整え敵の來攻に方りて陸海空の戦力を結集し自主的に決戦方面を決定して之を撃滅せんとする計畫にして敵が南西諸島方面に來攻する場合を捷二號作戰と呼稱せられたり

捷二號作戰指導要領は南西諸島増加兵團の來著に伴ひ逐次其の輪廓を明にせり計畫の主体は航空作戰にして之を要約すれば左の如し

1. 陸海航空の主力（在本土、支那、臺灣、比島方面の航空戦力を結集使用す機数は千五百機内外にして敵機動艦隊の推定保有機數に匹敵す）を以て敵をその上陸前に撃滅す

2. 聯合部隊は其の全力を以て作戰に参加す

南方基地より我が南西諸島の決戦場に進出する迄には捷二號作戰發令より約一週間を要す

3. 第三十二軍は所在島嶼守備隊を以て我が航空及聯合艦隊の攻撃成果と相俟つて上陸し來る敵進攻部隊を撃滅す

地上兵力決戦予備とし上海に第一師團、臺灣に旅團一を控置す  
大本營の捷二號作戰指導計畫に基く第三十二軍主力の沖繩島に於ける作戰計畫の概要左の如し

方針

有力なる一部を以て伊江島及本部半島の確保に勉むると共に軍主力を以て沖縄本島南半部を占領し同方面に上陸する敵に對し隨時隨處に兵力を機動集中し我航空及海軍と協同して敵をその上陸海岸地帯に於て撃滅す

指導要領  
兵團部署

要圖第一其の一乃至其の四の如し

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

# 第三十二軍兵團部署要圖 (於捷號作戰準備)

要圖第一(其二)

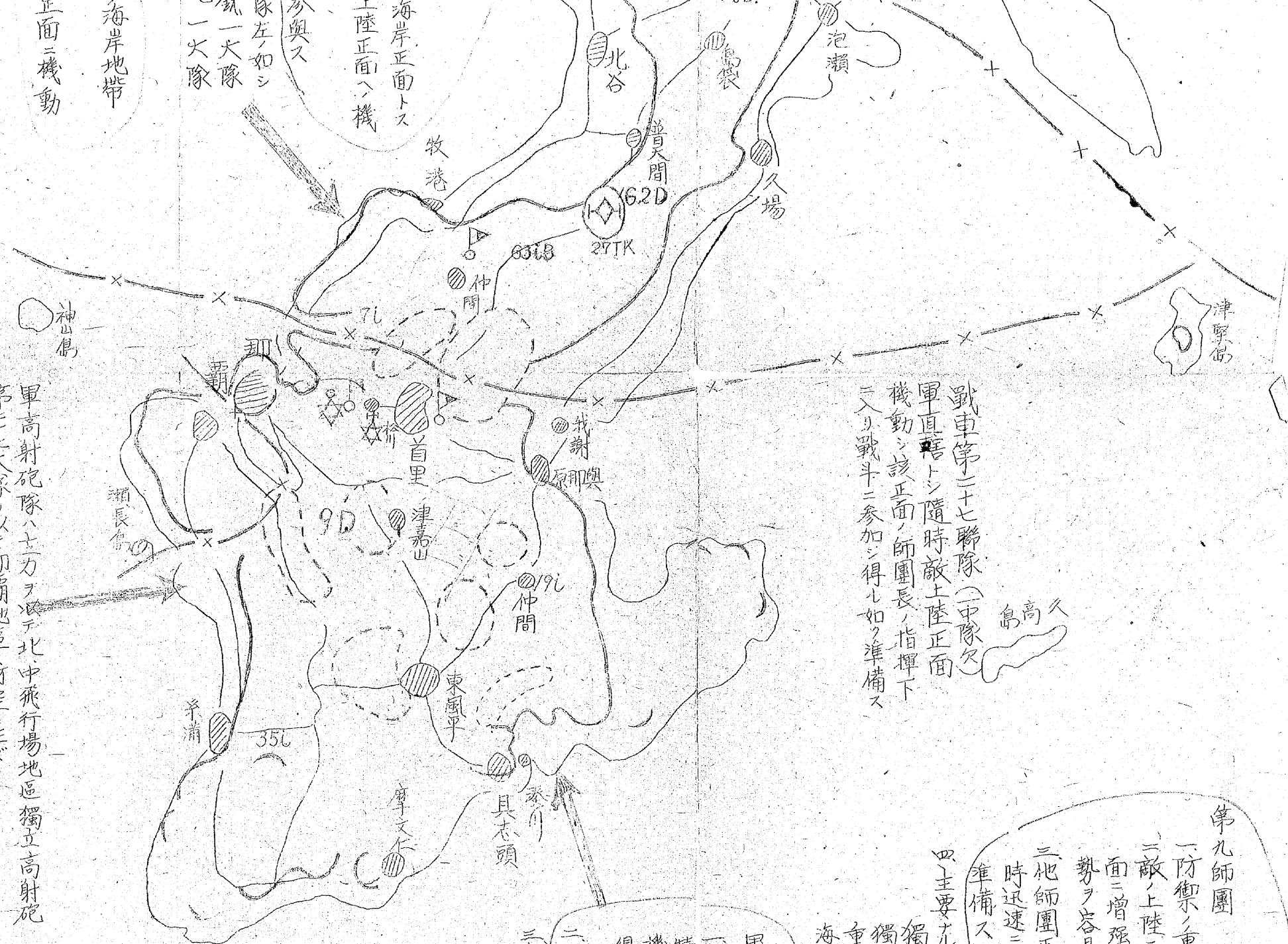


**第二十四師團**  
 一 防禦ノ重點ハ西海岸正面トス  
 二 敵ノ上陸ニ際シテ概テ一夜ニシテ師團主力ヲ該方面ニ増強シ敵ヲ海岸地帯ノ狭小地域ニ拒止シ軍主力ノ攻勢ヲ容易ナラシム  
 三 他師團正面ニ敵上陸ノ場合師團主力ヲ以テ隨時迅速ニ該正面ニ機動シテ戦斗ニ参加シ得ル如ク準備ス  
 四 主要ヲ配屬部隊左如シ  
 五 一戦月充一ノ家

**第六十二師團**  
 一 防禦ノ重點ハ西海岸正面トス  
 二 南北兩兵團ノ敵上陸正面ニ機動ヲ掩護ス  
 三 主力ヲ以テ決戦ニ參與ス  
 四 主要ヲ配屬部隊左如シ  
 五 獨立機關銃一大隊  
 六 獨立速射砲一大隊

軍高射  
 第三七六  
 該正面ニ

戰車第  
 軍直轄  
 機動シ該  
 入り戦



戰車第二十七聯隊(一中隊欠)  
軍直轄トシ隨時敵上陸正面  
機動シ該正面ノ師團長ノ指揮下  
ニ入り戦斗ニ参加シ得ル如ク準備ス

高久島

第九師團

一防禦ノ重點ハ西海岸正面トス  
二敵ノ上陸ニ際シテ師團主力ヲ概ネ一夜ニシテ該正  
面ニ増強シ敵ヲ海岸地帯ニ拒止シ軍主力ノ攻  
勢ヲ容易ナラシム  
三他師團正面ニ敵ノ上陸スル場合師團主力ヲ以テ隨  
時迅速ニ該正面ニ機動シ戦斗ニ参加シ得ル如ク  
準備ス

四主要ノ配屬部隊左ノ如シ  
獨立機関銃ニテ大隊  
獨立速射砲(大ト一中隊)  
重砲兵第七聯隊  
海軍根據地隊

軍砲兵隊

一概シ要圖ノ地域ニ陣地ヲ構築シ隨時隨所  
特ニ西海岸津ヲ南海岸正面ニ兵をシテ  
機動集中シ敵ヲ其橋頭堡ニ於テ撃滅シ  
得ル如ク準備ス

二平時軍砲兵力ハ島尻地区内ニ位置ス  
三兵力編組ノ概要左ノ如シ

- 第五砲兵司令部
- 野戰重砲兵第一聯隊(一中隊欠)
- 同 第二十三聯隊
- 獨立重砲兵第百大隊(一中隊欠)
- 中迫撃第四第五大隊
- 獨立迫撃第一第二大隊
- 獨立臼砲第一聯隊
- 獨立工兵第六十六大隊

軍船舶團

左ノ如ク各部隊ヲ展開シ敵輸送船團ヲ  
其上陸前夜泊地ニ攻撃ス  
攻撃ノ重點ヲ西海岸沖トス

- 第一戰隊 座間味
- 第二 阿嘉
- 第三 渡嘉敷
- 第二十六 勝連
- 第二十七 金武
- 第二十八 湊川
- 第二十九 安富祖

軍高射砲隊ハ士力ヲ以テ北中飛行場地區獨立高射砲  
第二十七大隊ヲ以テ那覇地區ノ防空ニ任ズ  
該正面ニ敵上陸ニ際シテ其ノ附近ニ於テ地上戦斗ニ参加ス

海岸地帯  
正面ニ機動

陸正面ハ機  
隊左ノ如シ  
一大隊

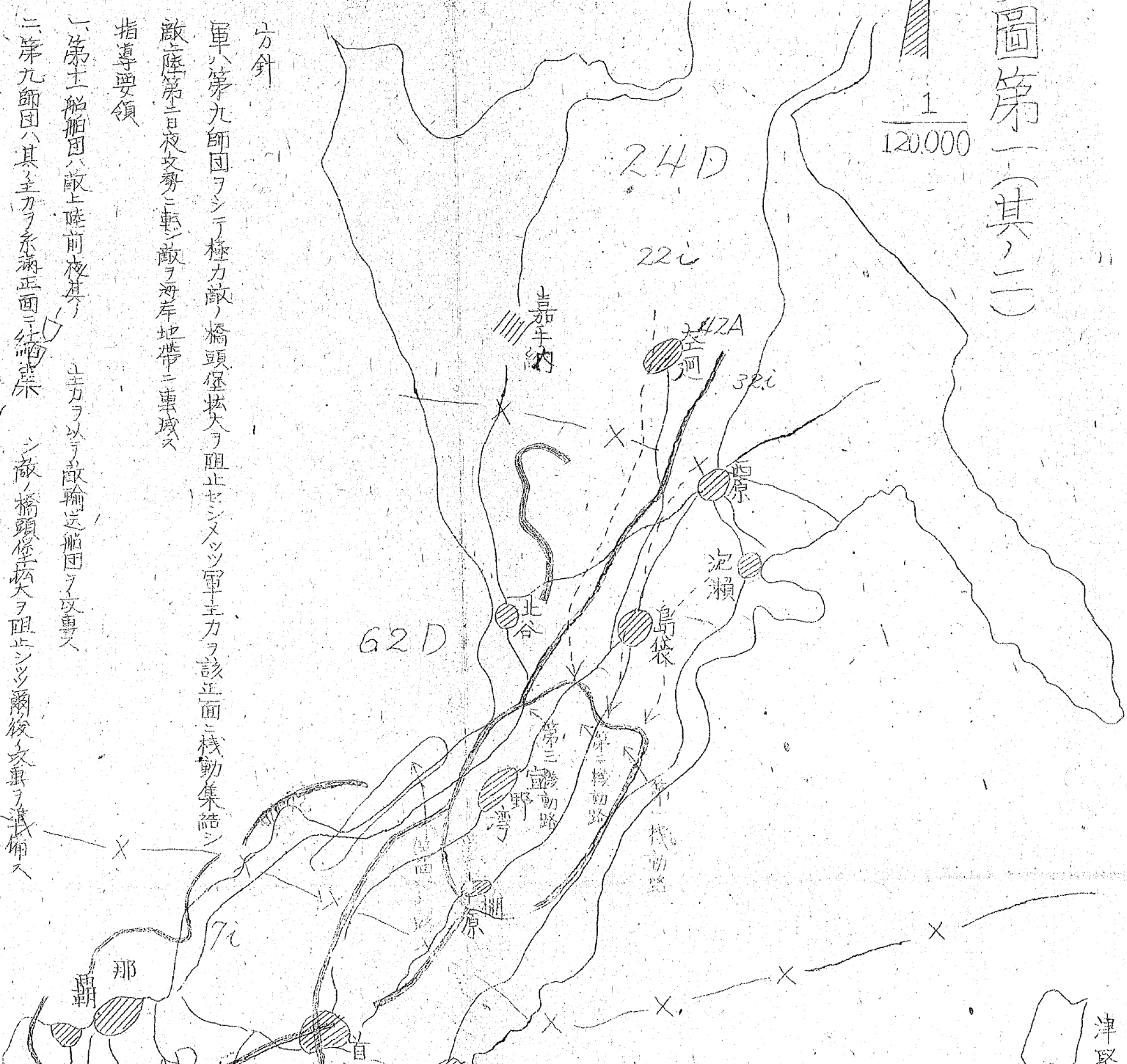


# 敵が系滿正面上陸セル場合戰 闘指導要領 (於昭和十九年秋)

要圖第一(其二)

1  
120,000

- 方針
- 軍ハ第九師団ヲシテ極力敵ノ橋頭堡ヲ阻止セシメツ軍主カヲ該正面ニ移動集結シ  
敵陸軍第一夜攻勢ニ對シテ敵ヲ海岸地帯ニ集域ス  
指導要領
- 一 第一船團ハ敵上陸前夜其ノ主カヲ以テ敵輸送船團ヲ攻撃ス
  - 二 第九師団ハ其主カヲ系滿正面ニ結集ス 敵ノ橋頭堡ヲ阻止シ爾後攻撃ヲ準備ス  
第一線ノ射撃開始敵第一夜ノ上陸後トシ敵ヲシテ上陸部署變更ノ余地ヲ与ヘシメ  
三 軍砲兵隊ハ敵上陸第一夜迄ニ豫メテ計畫スルトヨリニ基キ陣地裏面及射撃準備ヲ  
完成シ同夜橋頭堡破砕射撃ヲ實施シ爾後第一線兵團ノ攻撃ニ協同ス
  - 四 第二四師団ハ敵上陸前夜ヨリ南方移動ヲ開始シ師団砲兵主カハ同  
夜中ニ豫メ準備シ津嘉山附近陣地ニ進入步兵部隊其他ハニ夜移動ヲ以テ攻撃  
準備位置ニシ



津嘉山



輸送船団ヲ攻奪ス  
 橋頭堡大ヲ阻止シテ爾後攻奪ヲ準備ス  
 テ上陸部署要員ノ余地ヲカシテ急ニ勉ム  
 トヨニ基キ陸地裏更ニ及射撃準備ヲ  
 後第一線兵團  
 攻奪ニ協同ス  
 砲兵師団砲兵主力ハ同  
 八部隊其他ハニ夜機動ヲ以テ攻奪

セシメツ軍主力ヲ該正面ニ機動集結シ  
 橋頭堡大ヲ阻止シテ爾後攻奪ヲ準備ス  
 テ上陸部署要員ノ余地ヲカシテ急ニ勉ム  
 トヨニ基キ陸地裏更ニ及射撃準備ヲ  
 後第一線兵團  
 攻奪ニ協同ス  
 砲兵師団砲兵主力ハ同  
 八部隊其他ハニ夜機動ヲ以テ攻奪

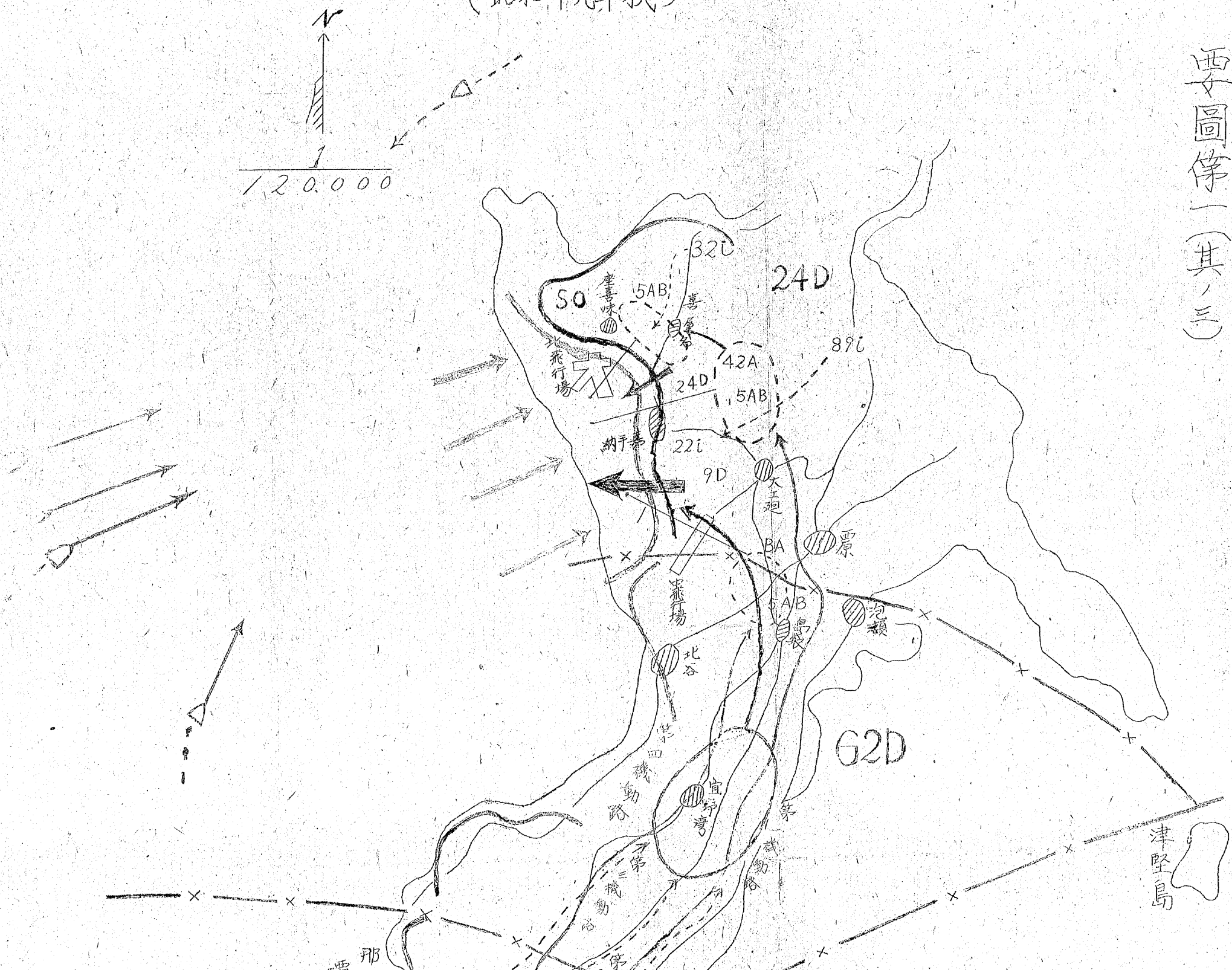
五第六十二師団八第三四師団機動ヲ掩護シテ後逐次兵力ヲ  
 首里附近ニ集結シ軍糧補トナル  
 六第九第三四師団攻奪ハ重砲兵隊ノ橋頭堡破摧射撃ヲ行  
 キ敵上陸第一日後半夜ニ實施ス  
 攻奪歩兵ハ其兵力ヲ過大ナラシメ且兵器彈藥ヲ豊富ニ  
 携行シ拂曉迄ニ敵ノ全縱深ニ滲透シ紛戦ニ道ヲ重勉ム

津堅島

# 敵嘉手納海岸上陸の場合、戦闘指導要圖

(昭和十九年秋)

要圖第一(其三)



方針